

重碧激澗漲長餅何緣命名喚七星腕擊琥珀光迸掌訝佗寒芒照畫櫺吾戶雖小嫌甜酒常恨泉釀不可口宴闌煩君更往賒始覺萬愁付一帚君不見我胸未能羅二十八宿我腹猶堪藏北斗

〔蛻巖集四〕題兵庫樽氏曙光酒

鷄鳴海驛曙光開紅靄紫霞春滿臺君自神仙多異術一齊釀入甕中來

〔瓦礫雜考下〕酒

攝津國伊丹にて造るよき酒に星の井と名づくる酒あり俗にこれを七ツ梅といふ樽に七星をしのしにつけたるがうめばち星の井は井によりて名づけたる也

〔明和新增〕京羽二重大全三名酒所

後水尾院様御銘有明

東福門院○後水尾后様御銘花橘

鷹司前關白様御銘蘭菊

女院御所様御銘竹葉若みどり

日光御門跡様御銘初ざくら

妙法院御門跡様御銘さゝれ石又まひ鶴

北野經王堂前この花

富小路松原下ル町柳葉

四條烏丸東江入町みたらし

〔元治改正〕京羽津根三銘酒所

養老菊水酒

さゝれ石まひ鶴

堀川六角下ル町八文字屋

堀川丸太町坂田屋

油小路竹屋町下ル町關東屋

右同斷井筒屋

烏丸夷川上ル町廣長屋

新町通一條上ル重衛

津國屋

近江屋

穗積屋○下

不明門通七條上

藤岡友三郎

新町一條上重衛